

山 口 新 聞

平成 25 年 7 月 12 日 (金)

NO.63

農地・水環境

守ろう地域の手に



63

が記されている。水路改修にあたっては、分水個所だけは歴史的水利施設として保存されている。ここでは毎年、水路の分岐点で、重ねた竹の束の上に石を置いて水量を調整する「八咫」を配置する作業が、今日も継承されている。

地域の農地は整備済みであり、農道や水路などを適正に管理するため、2007年度に当会を設立した。白水の池では、農業者による泥上げなどの清掃作業を実施し、農業用水としての機能維持・管理に努めている。環境保全活動はもとより、蜚が生息する環境づくりや桜、アジサイの植栽による景観づくりにも取り組んできた。蜚は県下有数の生息地と自負している。

地域の特産品は、何と云っても秋芳梨。なかでも100年以上も生産を続けている「長寿梨」は、地域の宝である。(会長、河本芳久)

— 金曜日掲載 —

【又モ】 会長 河本芳久
 △会員 265人、農家 (197戸)、自治会、秋芳町土地改良区 △設立 2007年7月24日
 △連絡先 美祢市秋芳町別府2724の1、河本芳久さん ☎0837・640538



①千人塚集落の会員の皆さん ②「八咫」の設置作業

カルスト台地との共生を

別府地域環境保全会 (美祢市)

別府は厚東川上流の秋吉である。台の西麓に広がるポリエトと呼ばれるカルスト低地であり、日本名水百選に選ばれた弁天池や白水の池など、清らかな水に恵まれた地域

豊富な水は古くから農業用水に利用され、中世の古文書に水利に関するおきて

継承されている。